



# レファレンス通信

No. 27

2016.3

石川県立図書館  
利用サービスグループ  
〒920-0964  
金沢市本多町 3-2-15

## きょうは何の日？

年中行事や記念日について調べる方法を紹介します。

**いろいろな記念日・行事** 例えば、こんな記念日・行事について調べることができます。

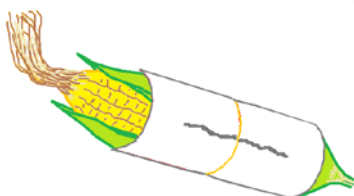
「**苗字制定記念日**」2月13日は苗字制定記念日とされています。明治3年には平民も苗字を名乗ってよいことになっていたのですが、実際に名乗る人がなかなか増えなかったため、明治8年のこの日に平民も必ず苗字を名乗るようあらためて布告が出されました。

「**氷の日**」江戸時代、加賀藩が將軍家に氷を献上し「氷室の日」として祝ったのが陰暦6月1日だったことから日本冷凍事業協会が6月1日を氷の日としました。ちなみに金沢で「氷室開き」が行われるのは7月1日で、またその日に「氷室まんじゅう」などを食べる風習があります。

「**じゅんさいの日**」じゅんさい産地の秋田県で「三種町森岳じゅんさいの里活性化協議会」が制定。June(ジューン)31と考えたところ6月は30日までしかないので、7月1日がじゅんさいの日になりました。

「**四万六千日**」観音の縁日で、この日にお参りすると四万六千日お参りしたのと同じ効果があるとされています。金沢では8月9日頃(年によって異なる)で、雷除けのためこの日にトウモロコシを食べる風習があります。

「**めがねの日**」10月1日を「1001」と書くと眼鏡の形に似ていることから日本眼鏡関連団体協議会が制定。



(参考文献:『日本大百科全書』小学館 1986.9 R031/72)

『稿本金沢市史』風俗編第1 金沢市 1927 初版、1973 復刊 K222/37/12

『366日記念日事典』(裏面の紹介資料① 以下、資料①などと略記)

『記念日・祝日の事典』(資料②)

『暮らしの歳時記』石川編 (資料③)

## ちょっと意外な？調べ方 ~こんな資料でも調べることができます~

『**六法全書**』有斐閣 2015.3 R320.9/14/015

国が定めた国民の祝日については「祝日法」(正式名称「国民の祝日に関する法律」)の中に列挙されており、どの日がどんな趣旨で祝日なのかがわかります。法律を調べる方法はいろいろありますが、この場合は『六法全書』が手軽です。また、過去の『六法全書』を見て国民の祝日の変遷を調べる、という使い方もできます。

『**理科年表**』丸善出版 2015.11 R403.2/1/016

国民の祝日や二十四節気、雑節などは年によって日が変わるものがあります。国立天文台が計算して前年2月の初めに官報で公表したものが正式な日付ですが、国立天文台が編集している『理科年表』の、暦部の最初の方(平成28年版ではP3)にも載っているので、そちらを見るのが便利です。

### 県史・市町村史

特定の地域の行事を知りたい場合、各県史や市町村史などの自治体史・地域史をみると、たいていその地域の年中行事についての記述があります。「民俗」「習俗」「くらし」などの中にあることが多いので、目次を活用して探してみてください。

## 〈行事・記念日に関する本〉

### ① 『366日記念日事典』 創元社 2013.12 386.9/10012

記念日の登録制度を運営している民間の団体「日本記念日協会」の編集。一般的な記念日の他、団体・企業・個人が独自に制定した記念日が掲載されている。ジャンル別の索引あり。

### ② 『記念日・祝日の事典』 東京堂出版 2006.4 386.9/10007

さまざまな記念日を紹介。記念日は日本中心だが、各国の祝日を国ごとにまとめた「世界の祝祭日」も掲載されている。記念日・祝日を五十音で探すことのできる索引あり。

### ③ 『366日話題事典』 ぎょうせい 1995.7 203/67

「日にち」にちなんだ話題を集めた本。1日に1見開きを使い、多くの分野から複数のエピソードを紹介。

### ④ 『365日物語』 創英社 2005.12 204/10064

その日に関係する、人物のエピソードを1年のすべての日について集めた本。1日1エピソード。

### ⑤ 『日本の話題365日』 日本図書刊行会 1997.3 210.04/10003

これも日にまつわる話題を集めた本だが、事実の説明だけには留まらず、関連する雑学の紹介や著者による風刺の要素も含んでいる。また、それぞれの日の花とその花言葉が紹介されている。

### ⑥ 『年中行事大辞典』 吉川弘文館 2009.3 R386.1/10135

日本の行事やまつりについて書かれた辞典。本文は行事名の五十音順だが、月日の順に行事が並べられた「年中行事一覧」が付録として収録されている。

### ⑦ 『367日誕生日大事典』 日外アソシエーツ 2007.9 R280.3/10025

### ⑧ 『367日命日大事典』 日外アソシエーツ 2008.9 R280.3/10027

日付ごとにその日に誕生／死亡した人物の名前とプロフィールを紹介。巻末索引で人名から誕生日／命日を調べることもできる。なお「367日」になっているのは、旧暦では2月30日があったため。

### ⑨ 『仏教365日大事典』 溪水社 1995.2 R180.3/49

仏教関係者むけに法話などの素材を提供するという趣旨の事典だが、仏教に関連するその日の出来事その他、広く社会の出来事や年中行事、誕生日・命日なども掲載されている。

### ⑩ 『世界のお祭り百科』 終風舎 2015.1 386/10018

世界各地の「参加できる」お祭りを紹介。学問的な正確さより魅力を伝えることに重きをおいた文章に加え、美しいカラー写真が多数。祭りの概要は地域ごとに掲載。五十音と開催月別の索引あり。

### ⑪ 『キリスト教歳時記』 平凡社 2003 196/10004

キリスト教の様々な祝祭日を月ごとに紹介。どの教派で祝われているのかも示されている。

### ⑫ 『図説聖人事典』 八坂書房 2011.12 R198.2/10151

日本で有名な聖バレンタインの日だけではなくカトリックではほぼ毎日が何らかの聖人の記念日とされているが、それらをまとめた「聖人暦」が巻末に掲載されている。聖人暦が掲載された資料はこの他に『キリスト教聖人文化事典』（原書房 2006.11 198.2/10104）等がある。

## 〈石川県の年中行事〉 県史・市町村史以外の資料

### ⑬ 『暮らしの歳時記』 石川編 北國新聞社・2012.8 K385/1046/1

石川県の年中行事やまつり、風習、季節の風物詩などを月ごとにまとめ、カラー写真とともに紹介。各月の歳時暦には石川以外の記念日も掲載されている。

### ⑭ 『昔の十二月』 能登印刷出版部 1999.11 K208/1002/2

藩政期末の加賀藩士が書いた(と推測される)本を活字にしたもので、金沢の年中行事が1月から12月まで順に記されている。本文は当時の書き言葉で現代語訳はついていないが、金沢の古い慣習を知る上で貴重な文献。

調べものは調査相談カウンターまで

電話：076-223-9575 F A X：076-222-2531 メール：chosa@pref.ishikawa.lg.jp